

## \*2002 年度・現代社会学科調査実習報告書

### 「商店街をどうしょうてんがい」刊行

上記報告書は名古屋市西区の円頓寺商店街の調査結果である。現代社会学科の現3回生11名が1年かけてヒアリングやアンケート調査を実施し、100ページあまりの報告書にとりまとめた。報告書の最後にも書いたが、円頓寺商店街はかつて名古屋でも有数の商店街であり、夜遅くまで人通りが絶えず活気があった。それが多くの商店街のように活気がなくなり、空き店舗も増えてくる。学生たちの11の提言は未熟な点もあるが、商店街の活性化にすこしでも役立てばと思う。

中日新聞（3月19日付）にも紹介されたが、空き店舗を利用した共同スペース「ふれあい館えんどうじ」がオープンした。お年寄りパワー空き店舗に結集と報じられたように、地元の高齢者が知識を生かして講座や催しが実施されつつある。調査実習に参加した学生たちも、地元の子供を対象に「勉強と遊び塾」を計画している。実習成果の地元への還元として注目したい。また、5月5日の午後には、この「ふれあい館」において、調査実習の報告会が行われる。実習の成果が商店街や地元住民の方たちにどのように評価されるか、今から楽しみだ。

山の畑キャンパスに近い雁道商店街の活性化に向けたプロジェクトが計画されている。円頓寺をはじめとした商店街調査の成果が、すこしでも役に立てばと思う。「大学と地域」との関係を密にしていくためにも。

（4月19日 記）